

遠藤 章江議員

土地の不動産鑑定価格については、評価審議会等を作り検討すべきである。当区画整理組合や公共減歩を受ける土地、建設予定の民間集客施設の購入する土地の詳細な情報が少ない。土地の妥当性を認められるように情報の開示をするべきである。

大澤 清議員

土地購入費については、不動産鑑定の前に市と区画整理組合が金額の交渉をするべきだったと考える。また、道の駅は公共施設のため、自主財源にはならないと考えられる。道の駅と民間集客施設の詳細な計画や今後の方向性が不透明なままでは賛成することはできない。

賛成討論

草間 典夫議員

この財産の取得について、鑑定価格や契約手続も妥当であると考える。道の駅整備事業用地は、都市エリアへの交通条件も良く、常総市の発展が期待できるものである。

倉持 守議員

水害からの復興・当市の地域産業の活性化のためには、アグリサイエンスバレー構想が必要であるということで、全員賛成をしてスタートした。土地の価格・立地についても妥当と考える。

石塚 剛議員

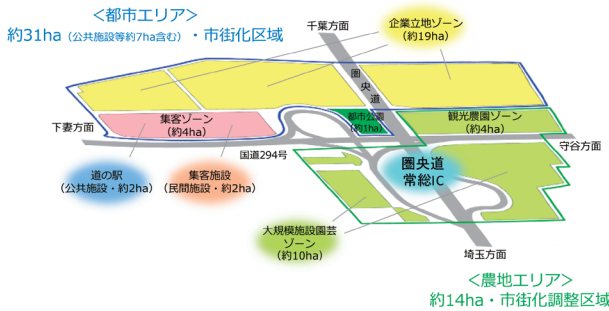
交通の利便性等を考えると、土地の価格は妥当である。アグリサイエンスバレー構想の中で道の駅建設は人口減少が進む将来を見据えた市の重要な施策である。

中村 博美議員

土地の価格は妥当である。道の駅は、公共施設として市民と作り上げていくものであり、多くの方が集う施設になる。

関 優嗣議員

当市に建設する道の駅は、観光農園や都市公園のある官民それぞれの特性を生かした集客等の相乗効果の図れる拠点になる。土地の購入金額だけではなく、当市の発展・成長という未来への投資として総合的に考えるべきだ。



令和3年6月 随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件で下表に掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
—	「議案第44号常総市（仮称）道の駅常総の土地購入及び建設に係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例について」に対する修正案	議案第44号の修正案を会議規則第17条の規定により提出するもの	否決
議案第44号	常総市（仮称）道の駅常総の土地購入及び建設に係る市費の支出の賛否を問う住民投票条例について	地方自治法第74条第1項の規定による条例制定の直接請求があったことから、同条第3項の規定により意見を付けて提出するもの	否決

《会議の欠席等の状況》
喜見山 明 6/25、7/1【本会議】欠席 佐藤 剛史 7/1【議会運営委員会】欠席

令和3年6月 随時会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

○:賛成 ×:反対 棄:棄権

議案番号	常総の志			未来					令明会				公明党		共産党	会派所属無し						
	関優嗣	倉持守	坂巻文夫	飯島忠	坂野茂実	小林剛	中村博美	風野芳之	中村安雄	佐藤剛史	広瀬光一	草間典夫	吉原晴照	柳井真吾	石塚剛	堀越道男	大澤清	遠藤章江	岡野一男	茂田信三	喜見山明	水野昇
—	×	×	×	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	×	×	×	×	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わらない